

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。 <http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/>



琉球大学医学部附属病院
副院長・医療安全管理対策室長

大屋祐輔

巻頭の挨拶

「医療安全の確保とは？」

医療の原則は、「安全確保」と「患者中心」にあります。医療の発達と広がり
が不十分だった過去とは違い、現代では、医療安全は当然確保されるべきもの
と考えられており、医療者自身もそれを確保するために努力しています。しかし、
世の中では依然としてある一定数の医療事故が発生していることが知られてい
ます。このような残念なできごとは、何に起因しているのでしょうか？ その
医療を担当した当事者の問題もあるでしょう。しかし、現在の考え方では、人
間はAIやロボットではありませんので、ある一定の確率でエラーを起こすため
とされています。1999年に米国科学アカデミー医学研究所が発表した医療過誤
に関して報告書の中で使われた「To Err is Human（人は誰でも間違える）」とい
う言葉が広く知られるようになりました。これを解決する方法は、医療者は人間であるためにミスが起こ
りうる可能性があることを前提に医療の安全確保対策を行うべきということです。また、「医療の不確実性」
という言葉もあります。医療においては、同じ病気を患っていたとしても、患者さんの症状や経過、また、
治療の効果などはそれぞれ異なっています。また、病状は刻々変わることなどから、医療の現場では予測
できないことが数多く生じています。その瞬間・瞬間の判断では最善のことと思っても、次の瞬間は状況
が変わって最善ではなくなってしまうことも起こります。このように予測に基づいた行動には、ある一定
の不確実性が存在し、それに対応しきれないことが生じる可能性があるということです。

しかし、これらの「To Err is Human」や「医療の不確実性」は医療の安全確保における免罪符ではあり
ません。そのような人間の特性や医療の特性を踏まえた上で、最善の医療のためには、医療者個人の知識
や技能を上げることに加えて、医療を行う当事者のみならず、周りの医療者、さらにそれ以外の職員、環
境も含めて「システムとして」安全確保のための体制構築と対策に取り組むことが最も確実で有望な方法
とされています。

琉球大学医学部附属病院には「安全管理対策室」があり、患者さんの安全確保のために日々、活動を行っ
ています。4月から副院長である私、大屋がその対策室長を務めております。私は、これまで沖縄県のす
べての医療人の学びの施設である「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」に関わってきました。
そこでは、医療者の技能を上げる取り組み、また、さまざまなエラーの可能性、不確実性から生じる状況
を予防するためのトレーニングを、企画・実施してきました。これまでは、医療の現場から得られた経験
を教育・トレーニングに生かしてきましたが、これからは、安全管理対策室の活動の中で、その教育・ト
レーニングを医療の現場に戻していくことを目標にしたいと思っています。おきなわクリニカルシミュ
レーションセンターは日本で最高の医療トレーニング施設の一つとされています。琉球大学医学部附属病
院も日本で最高の医療安全対策が行われている病院になるべく、対策室員一同、さらに、がんばってい
たいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



大嶺 千代美

看護部長

初めまして、4月1日に看護部長に就任しました大嶺千代美と申します。どうぞ、宜しくお願いいたします。「看護師が変われば、病院が変わる」と言われるほど、病院職員の半数を占める看護師の質の高さが今、求められています。私が入職した平成元年当時の看護師数は330名ほどでしたが病院機能拡充に伴い、現在は615名となっております。毎年40名前後の新卒看護師が入職し、病棟に配置していますので入院すると若い看護師が多いと感じることでしょう。

入職時には、看護部理念「専門的知識に基づいた看護技術を思いやりの心で提供する」をかみ砕き、F・ナイチンゲールが唱える自分の仕事に三重の関心を持つこと（症例に対する理性的な関心、病人に対する心のこもった関心、病人の世話と治療に関する技術的な関心）と白衣のシンボルマークの意味、行った看護に責任を持ち、自立して行動できる看護師を目指して欲しいと説明をしています。多くの看護師は、人の役に立ちたいと免許を取得し働いています。患者さんの痛みや苦しみを和らげることでできないつらさや力のなさに悔むこともあります。チーム医療のキーパーソンであることを自覚し、より良い医療・看護が提供できるよう専門職として自己を高める努力を惜しまないで欲しいと願っております。

一人ひとりの看護師が患者さんを大切に思い、看護を丁寧に行い、笑顔で、はつらつと働くことが琉大病院の質につながると信じ、看護部では更なる看護実践力の向上と医療接遇向上に取り組んでいます。若いエネルギーを看護の力に変えていきたいと考えておりますので皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

特集 1

アフリカ・エチオピア連邦共和国の子ども達に笑顔を！

口唇口蓋裂センター・歯科口腔外科 准教授 西原 一秀
麻酔科 助教 西 啓亨

琉球大学医学部附属病院口唇口蓋裂センターは、口唇口蓋裂患者にチームアプローチによる一貫治療を行い、日本でも代表的な専門施設として知られています。

今回、2017年2月にアフリカ・エチオピア連邦共和国（エチオピア国）のブタジラ市グラルベット病院で行われた第6次口唇口蓋裂無償援助活動に、歯科口腔外科の西原一秀准教授と坂元結歯科医師、麻酔科の西啓亨助教が参加しました。

エチオピア国の首都アジスアベバ市は、近年目覚ましい発展を遂げて鉄道輸送も開始されていますが、アジスアベバ市から3時間ほど南下した地方の農村都市であるブタジラ市では、未だに水道、電気が通じていない家屋があり、十分なインフラ整備が整っていないのが現状です。口唇口蓋裂患者は、日本では生後3か月頃に口唇形成手術を行います。経済的な貧困地域であるブタジラ市では、未だに成人した高齢の未治療患者が毎回手術を希望してグラルベット病院を受診します。そのグラルベット病院は、



手術中に停電を起こして手術が中断するなど地方病院の医療環境、整備はまだまだ不十分です。

本活動は、琉球大学医学部ならびに口唇口蓋裂協会の関係各位のご協力とご支援で行われています。今後もこの活動を継続し、さらに医療・教育分野でエチオピア国の医療技術向上・発展に寄与するとともに、一人でも多くの患者の手術を行い、患者さんと家族の笑顔を取り戻すことができれば幸いです。

皆さま、こんにちは！ 耳鼻咽喉科長で手術部長を兼任している鈴木幹男です。手術部は外科系の先生が手術を行う場所ですが、最近は内科医、小児科医の先生方も血管内治療や骨髄移植に用いています。当院の手術件数は年々増加し、平成28年度は5,900件を超えました。振り返りますと琉大病院では、ロボット手術の開始、低侵襲心臓血管手術の増加、救急患者さんの受け入れ増加、形成外科開設などたくさん話題がありました。手術室は10室ありますが、このような事情から当院で手術を希望されても手術待ちの時間が長くなる傾向がありました。そこで手術室の改装に着手し、この度1室を増室することができました。この手術室は従来の手術室よりひと回り小さいですが、外科系医師、麻酔科医、看護師、技士がアイデアを出し合い、事前シミュレーションを繰り返すことで使い易い部屋に仕上がりました。増室により年間約500件の手術を受け入れることができるようになり、手術待ち時間の短縮、緊急手術の受け入れ、効率的運用による労働条件の改善が期待されます。この新手術室は6月から稼働を開始しています。患者さんにとって手術は一生に一度の大きな出来事であり、手術前後の肉体的負担と精神的負担は計り知れないものがあります。手術部ではこれからも手術の安全性を高めるとともに、患者さんの不安を減らし、安心して治療を受けていただけるよう取り組んで参ります。



ロボットスーツHAL (Hybrid Assistive Limb)®は、人の意思に従う随意制御とロボットの自律制御を組み合わせたサイバニックシステムで、筑波大学の山海嘉之先生により開発されました。装着者の動作意思情報を反映した微弱な生体電位信号を末梢より検出して動作を実現できるため、脳からの情報を処理し外部機器へと出力するBMI (Brain Machine Interface) の一つにも位置づけられます。医療用HAL®は世界初の「ロボット治療機器」として注目されており、現在、日本国内では筋萎縮性側索硬化症などの8つの神経・筋難病疾患に保険適用されています。下肢の機能回復にすぐれますが、脳卒中については医師主導治験中であるため、脳外科では臨床研究として使用しています。仕組みは以下の通りです。①下肢の皮膚表面に貼り付けた電極から動作意思を反映した生体電位信号を取得します。②得られた情報を解析し、大腿部と膝部のパワーユニットに指令をだします。③生体電位信号に応じてパワーユニットが働き装着者の意思に従った動きを実現します。④このような随意運動を繰り返すことで、脳神経系の繋がりが強化・調整され、機能改善・機能再生が促進されます。重い麻痺の患者さんであっても、意思を反映した微弱な生体電位信号が検出できれば随意運動を実現できます。装着した患者さんからすると、動かしたくとも自力では動かない足を動かそうすると、自然なタイミングでHAL®が足を動かしてくれるということになります。8階東病棟にありますので興味のある方は自由に見学してください。お問い合わせは、脳神経外科の西村正彦助教 (098-895-1171) までお願いします。

最後に、本稿を御校閲いただきました山海嘉之先生に謝意を表します。



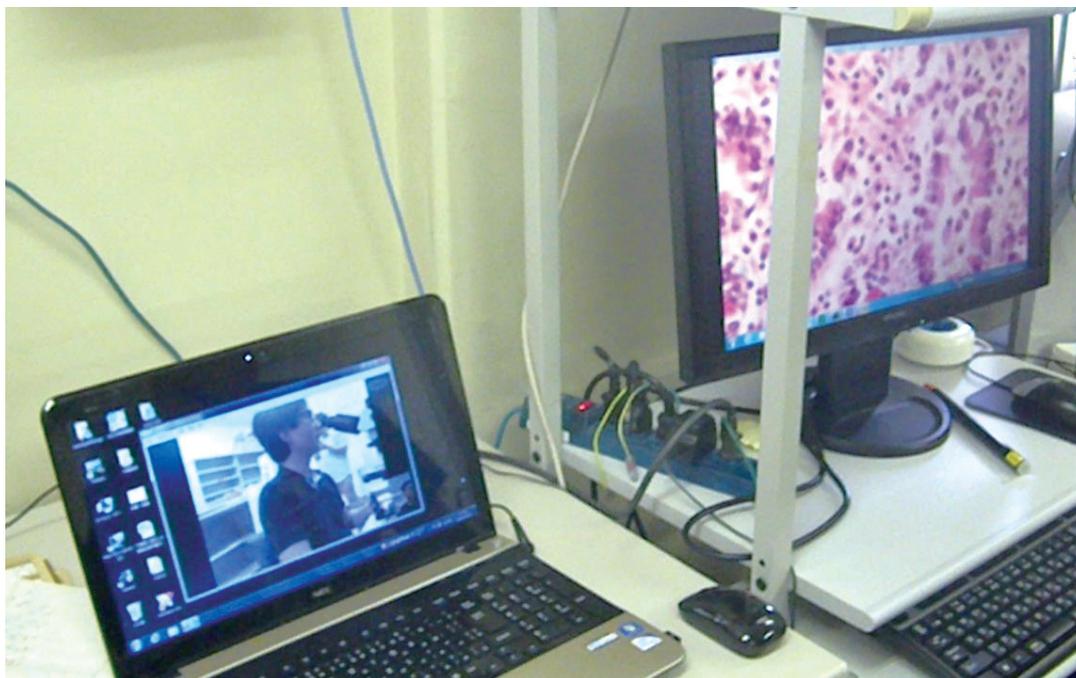
Prof. Sankai, University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

患者さんと直接顔を合わせることはありませんが、各診療科を横断的に網羅する診断を支援しているのが病理医です。病理診断は、検査や手術で採取された組織を肉眼や顕微鏡で観察し、病因の解明などにつなげるのが目的で、特にがん診療ではその診断を確定する責務を負っています。琉球大学医学部附属病院病理診断科では、大学だけでなく県内の他の医療機関も支援しています。

がんの手術ではしばしば、手術中に組織を顕微鏡で確認することで術式が変更になります。乳がんのリンパ節転移の確認や、卵巣腫瘍の良悪判定などがその例です。またがんが取り切れたかどうか、切除断端の判定が必要なことも多いです。これを術中迅速病理診断といい、琉大病院病理診断科では県立の宮古病院や八重山病院といった離島だけでなく、常勤病理医が不在の本島内医療機関にも、光回線を使った遠隔診断を行っています。顕微鏡に接続されたデジタルカメラやプレパラートのデジタルスキャナーを用いることで、実際にその施設で診断するのと変わらない精度で診断することができます。

近年は遺伝子変異などの研究から、がん治療での標的遺伝子治療薬が多数認可されてきていますが、それらの多くは通常の病理診断とともに遺伝子などの特殊な病理診断が必要となります。本年度から病理診断科を主体に沖縄県連携病理診断センターが発足しました。このセンターでは遺伝子診断や病理標本をデジタル化する技術を駆使した診断を積極的に進め、地域完結型のがん診療をサポートしていく予定です。

全国的にはがんのセカンドオピニオン外来を担っている病理診断科も多く、今後は患者さんと直接接する機会も増してくると思われます。がん診療連携拠点病院の病理診断科として、県内のがん診療向上に尽力していきます。

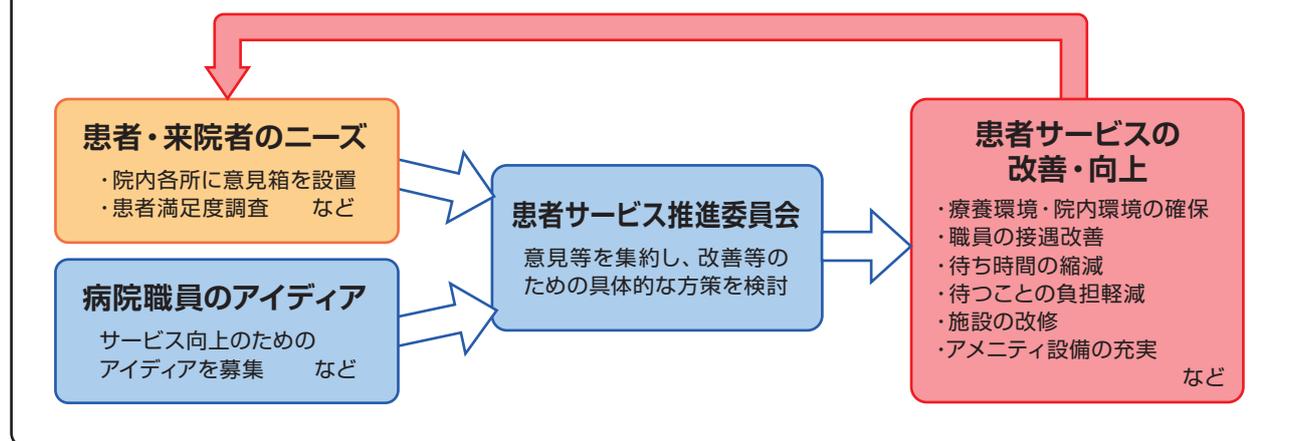


インターネットを介した遠隔術中迅速病理診断の様子

本院では、来院される皆さんが満足できる質の高いサービスを提供することを目的として、医師、看護師、その他の医療スタッフ、事務職員で構成した“患者サービス推進委員会（以下「委員会」といいます）”を設置しています。

この委員会では、患者さんや来院される皆さんからお寄せいただいたご意見・ご要望のほか、医療の現場で患者さんと接する職員からもそのニーズを把握し、これらを基に患者サービスの向上や不満の解消に必要な取り組みを推進しています。

患者サービス推進委員会における活動のイメージ



ここからは、委員会における主な取り組みを報告いたします。

(1) 会計時の待ち時間対策について

2年程前に、多くの方から「時間が掛かりすぎる」と叱咤激励をいただきました“会計時の待ち時間”ですが、定期的な調査と分析に基づく様々な取り組みを講じた結果、皆さんのご協力もありまして、平均で40分掛かっていたものが、最近では20分程度に改善することができました。

また、“待ち時間を縮減すること”のみならず“待つことの負担を軽減すること”にも主眼を置き、中庭の整備やコーヒーショップの導入、Pepper（ロボット）を配置等したことで「外来が明るくなった」、「ほっと一息つくことができる」など、好意的なご意見をいただいております。

<会計時の待ち時間縮減のための取り組み>

- 月毎の調査の実施と委員会での分析
- 計算窓口の分散化
- 待合ホールの動線確保と窓口レイアウトの見直し
- 窓口案内人の配置
- 計算窓口への人的支援体制の整備
- 診療前の保険証確認の徹底



新たに設置した計算窓口（1階）

(2) トイレの改善について

毎年実施する患者満足度調査において“本院に改善してほしいこと”をお聞きしていますが、“トイレの改善”が二番目に多く挙げられます（ちなみに一番目は“待ち時間の縮減”です）。

昨年度の委員会では、この“トイレの改善”を重点的に取り組む事項と位置付け、皆さんからいただいた具体的な要望等を参考に次の改善を行いました。

① 場所が分からない

各窓口や総合案内において「トイレはどこ？」と尋ねられることが多く、また「誤って男子（女子）トイレに入ってしまった」といった報告を度々いただいております。

右図のように、案内板を設置し、場所やトイレの機能を分かりやすく表示するようにしました。



開閉・施錠が容易な扉に改修（各階の中央トイレ）

② 車イス用個室が使いづらい

車イスを利用される方にとって、開閉しづらいドア（ジャバラ式）となっていました。また、照明や洗浄スイッチをセンサー式にしました。

③ 和式から洋式へ

車イス利用者や杖歩行者の多い1階整形外科外来／リハビリテーション部前のトイレを、和式から洋式へ改修しました。

④ オストメイト対応設備の導入

これまで、本院の外来にはなかったオストメイト（人工肛門や膀胱を造設された方）に対応した設備を、1階身障者用トイレに整備しました。

また、身障者用トイレにも案内板を設置し、場所やトイレの機能を分かりやすく表示しています。



オストメイト設備の導入（1階 身障者用トイレ）

このように本院では、来院される皆さんのお気持ちに配慮し、期待に応えられるような取り組みを推進しています。改善してほしいことやお気づきの点がございましたら、外来待合ホールの窓口にお知らせいただくか、院内各所に意見箱を設置していますので、どうぞ遠慮なくご投函ください。

今後も“患者さんに優しい病院”を目指して努力して参ります。

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。

※診療受付時間は午前8時から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。 平成29年7月1日現在

外来診療日割表

| 診療科 | 専門外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|--------|---------------------|-----|---|---|---|---|--|
| 第一内科 | 感染症内科 | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 呼吸器内科 | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 肺腫瘍：火・金曜日 |
| | 消化器内科(消化管) | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 糞線虫外来：木曜日 |
| | “(肝臓) | ※ | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) ※月曜日午後：B型肝炎訴訟診療(要予約) |
| | “(胆道・膵臓) | ● | | | | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| 第二内科 | 血液内科(骨髄移植外来) | | ● | ● | | ● | 新患は要紹介状、院外は要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来 | | ● | | | | |
| | 肥満症(生活習慣病) | | ● | ● | | ● | |
| | 糖尿病・代謝内科 | ● | ● | ● | | ● | 糖尿病外来は専用フォーム有 (月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ) |
| | 内分泌内科 | | ● | ● | | ● | |
| | 膠原病・リウマチ内科 | | ● | ● | | ● | ※膠原病・リウマチ内科は専門医の確保が出来るまで休診(再来のみ可) |
| | 骨粗鬆症・男性更年期(LOH) | | ● | ● | | ● | |
| | 女性医師による女性外来 | ● | ● | ● | | ● | |
| 第三内科 | 神経内外科 | ● | ● | ● | ● | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | 高血圧・腎臓内科 | ● | ● | ● | ● | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| 循環器科 | 高齢内科 | | | ● | ● | ● | |
| | 循環器内科 | ● | | ● | ● | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| 第一外科 | 上部消化管外科 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | 下部消化管外科 | ● | | ● | | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 肝胆膵外科 | ● | | ● | | ● | |
| | 乳腺・甲状腺外科 | ● | | ● | | ● | |
| 第二外科 | 小児外科 | ● | | ● | | ● | 小児外科は午後のみ |
| 心臓血管外科 | 呼吸器外科 | | ● | | ● | | 新患は要紹介状 呼吸器外科：院内紹介は事前に電話相談 |
| | 心臓血管外科 | | ● | | | ● | |
| | ステント外来 | | ● | | | ● | 血管外科：原則要予約(医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 血管外科 | | ● | | ● | ● | 木曜日：原則院内紹介のみ(主にDVT、静脈瘤) |
| 脳神経外科 | 一般・腫瘍 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | 脳血管障害 | ● | | ● | | ● | 他院・他科からの紹介・予約患者は10時~11時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約、院 内からの紹介は脳外科外来受付(月・水・金)内線1307で予約 緊急を要する患者は医局1171または病棟3801へ連絡し当日の 当直医(担当医)が対応します。 |
| | 新患・再来 | ● | | ● | | ● | |
| 整形外科 | 手の外科 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | ウマ | ● | | ● | | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 骨・軟部腫瘍 | | | ● | | ● | |
| | 脊椎・脊髄 | ● | | ● | | ● | |
| | 股関節 | | | ● | | ● | |
| | スポーツ医学(膝) | ● | | ● | | ● | |
| | 骨粗鬆症 | ● | | ● | | ● | |
| | 小児整形 | | | ● | | ● | ※乳児股関節の精密検査は要予約 整形外来内線1301で予約 |
| 形成外科 | 新患・一般再来 | | ● | | ● | | 新患は要紹介状 ・眼瞼下垂は、火曜日・リンパ浮腫は、木曜日 |
| 産科婦人科 | 新患 | ● | | ● | | ● | 紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します |
| | 産科 | ● | ● | ● | ● | ● | 火曜日・木曜日：予約再来のみ |
| | 婦人科 | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症 | ● | | ● | | ● | |
| 小児科 | 新患・一般再来 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | 腎臓 | ● | | ● | | ● | 小児循環器専門医は不在 |
| | 内分泌 | | | ● | | ● | |
| | 遺伝・先天代謝異常 | ● | | ● | | ● | |
| | 神経 | ● | | ● | | ● | |
| | 新生児 | ● | | ● | | ● | |
| | 血液(移植外来) | | | ● | | ● | |
| | 膠原病 | ● | | ● | | ● | |
| 皮膚科 | 皮膚科 | | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 皮膚外科 | | ● | | ● | ● | |
| | 乾癬 | | ● | | ● | ● | |
| | 強皮症・皮膚筋炎 | | | | ● | ● | |
| 腎泌尿器外科 | 腎泌尿器外科 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | 再 | ● | | ● | | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 小児泌尿器外科 | ● | | ● | | ● | 小児泌尿器外来は、月曜日午後(予約再来のみ) |
| | 腎移植外来(午前再来) | ● | ● | | | ● | 腎移植外来：午前は再来のみ、新患は午後 |
| | “(午後新患) | ● | | | | ● | |
| 耳鼻咽喉科 | 新患 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | 甲状腺・頭頸部腫瘍 | ● | | ● | | ● | 院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要 |
| | 鼻副鼻腔・アレルギー | ● | | ● | | ● | |
| | 中耳炎・難聴・めまい・顔面神経 | ● | | ● | | ● | |
| | 人工 | ● | | ● | | ● | |
| | 幼児難聴・補聴器 | ● | | ● | | ● | |
| | 口腔咽喉頭・唾液腺・音声・嚥下 | ● | | ● | | ● | |
| | 頸部エコー外来 | ● | | ● | | ● | |
| | アレルギー・免疫治療外来 | | | | | ● | アレルギー・免疫治療外来：予約再来のみ |
| | | 緑内障 | ● | | ● | | ● |
| 眼科 | 小児眼 | | | ● | | ● | |
| | 網膜硝子体 | | ● | | ● | ● | |
| | 角膜 | | ● | | ● | ● | |
| | 神経・腫瘍・ぶどう膜炎 | ● | ● | ● | | ● | 月曜日の神経、腫瘍は午後の再来のみ |
| | 一般再来 | | ● | ● | | ● | |

外来診療日割表

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。
 ※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。 平成29年7月1日現在

| 診療科 | 専門外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備 考 |
|-------------|-----------------|--------|---|---|---|---|--|
| 精神科神経科 | 新患 | | ● | | ● | ● | 新患は予約制 |
| | 一般再来 | | ● | | ● | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) (医療機関からの申込みに限る) |
| | 児童・思春期外来 | ● | | | | | (院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約) ※紹介状も必要です。 |
| | 光トポグラフィ外来 | ● | ● | | ● | ● | 「光トポグラフィ外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から 医療福祉支援センター Fax (098-895-1498) にて |
| 認知症疾患医療センター | もの忘れ診断外来 | | ● | | | ● | 新患は要紹介状 原則予約制。予約は認知症疾患医療センター：895-1765 |
| 放射線科 | 放射線診断・IVR | | | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | CTガイド下・PVP | | | ● | | | 月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ (連絡先：①4255 ②4865 ③4862) |
| | 甲状腺・RI | | | ● | | | 完全予約制 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) |
| | 放射線治療 | ● | ● | ● | ● | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) 重粒子線治療相談外来は水曜日のみ |
| 麻酔科 | 麻酔科 | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | ペインクリニック | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 歯科口腔外科 | 新患・一般外来 | ● | ● | ● | ● | | 新患は要紹介状 |
| | 口唇・口蓋裂 | ● | | | | | 新患・一般外来：月～木曜日 |
| | 顎変形症 | ● | | | | | |
| | 腫瘍 | | ● | | | | |
| | 顎関節症 | | | | ● | | |
| | 外傷 | | | | ● | | |
| 口腔ケアセンター | ● | ● | ● | ● | | | |
| リハビリテーション部 | リハビリテーション科 | ● | ● | ● | ● | ● | ・リハ新患は、月、火、水、木曜日(月、金は検査優先) リハ対象者は、入院患者のみ。以外は電話で要相談。 ・小児痙攣治療外来：第3金曜日の午後(院内紹介のみ) |
| | 心大血管リハ | ● | ● | ● | ● | ● | ・心大血管リハ新患は、月、火、木、金 |
| 高気圧治療部 | 高気圧治療部 | ● | ● | ● | ● | ● | 新患は要紹介状 新患は午前11:00まで、救急は要連絡 |
| 血液浄化療法部 | 血液浄化療法部 | ● | ● | ● | ● | ● | 土曜日 通常体制 夜間・日曜・祝日はオンコール体制 |
| 地域医療部 | 地域医療部 | ● | ● | ● | ● | ● | ※新患は原則要紹介状(院内紹介は文書入力にて紹介状記載) |
| 総合診療センター | 総合診療科部門 | ● | ● | ● | ● | ● | 総合診療科部門は午前のみ ※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状 |
| | 禁煙外来 | | ● | ● | ● | ● | 火・水・金曜日の午前中・予約制 ※当院通院中の外来患者のみ |
| | 漢方外来 | | | | | ● | 第3金曜日の午後のみ ※事前予約が望ましい |
| | ワクチン外来(感染対策室) | | | ● | | ● | 火・金曜日の午後のみ(インフルエンザワクチンを除く) 予約制。予約は総合 診療センター・内線1310で予約(予約受付時間：月～金曜日の14時～16時まで) |
| がんセンター | 緩和ケア外来(身体的緩和部門) | ● | ● | ● | ● | ● | 新患は要紹介状(火・木曜日は予約制) |
| | 〃(精神的緩和部門) | | | | ● | ● | |
| | がん看護外来 | ● | ● | ● | ● | ● | 月・火・木・金曜日(12:00～16:00) 水曜日(12:00～14:00) ※事前予約が望ましい(内線1311)で予約 |
| 救急部 | 救急部 | 24時間診療 | | | | | |

本院の理念及び基本方針

理 念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関係機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と責務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたいくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
 2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
 3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。
- 平成22年8月制定 平成29年2月21日一部改正



本院までの交通機関

- 那覇バス 所要時間：那覇バスターミナルより本院まで約50分
- 97番 琉大線
経路：那覇バスターミナル～牧志～儀保～**琉大病院前**～長田～中部商業高校前～琉大北口
タクシー・乗用車で約所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレール儀保駅からバス(97番)で30分

附属病院
ホームページが
携帯サイトからも
閲覧できます。



ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか？まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課(098-895-3331 内線：1006)

琉球大学医学部附属病院
http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

電話(098)895-3331(代表)
医療福祉支援センター(内線1371)
〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地